

平成 27 年 9 月 14 日

修正 9 月 18 日

江工会情報交換・意見交換会の記録（議事録） 文責：勝田友治
監修：西村和也

開催日時：平成 27 年 8 月 14 日（金）10：00 から 11：40

開催場所：江津工業高等学校 視聴覚教室

出席者：学校：大賀美周作校長（副会長）、吾郷教頭

本部：土井会長、松浦副会長、高月進事務局長、佐々木一郎監査、

理事（江津）：西谷茂、城山一則、石橋孝義、

理事（県内）：横田雪生（金城）、築橋良治、板倉満幸（温泉津）、

大谷十三一（弥栄）、

理事（県外）：大草正（九州）、大屋節雄（山口）風早昭（関西）、

西村和也（関東）、

会員（江津）：島田博、尾崎克文、坂根広晃、佐々木克、

会員（関東）：勝田友治、岸節雄、小田原実、河野一史、

（関西）：大谷茂、堀越保幸、

（益田）：大石環、藤原健三、石川展海、

（弥栄）：日原政春、

（浜田）：佐々木敏博

案内状発送数 60 名 出席者 33 名 平均出席率：55%

配布資料：1. 式次第 及び案内一覧名簿（60 名に発送、出欠状況）

2、江津市県立高校のあり方検討会「検討結果報告書」

及び江津市広報「パブリックコメント」募集について

3、生徒の状況 ①生徒在籍数 ②通学別 ③自宅・寄宿舎等

④出身地別 ⑤出身中学別 ⑥卒業生進路状況

- 4、江工会資料 ①入学者の状況 ②中学の生徒数
③県教育委員会高校再編成計画（統廃合基準）
④江津市県立高校のあり方検討会
⑤H28年度入学生より県外卒4名の撤廃、
スポーツ推薦指定校（男子ボート4名）
*平成28年度（来年度）で期限切れ。
⑥生徒数 ⑦部活動 ⑧進路状況
⑨学校のPR活動
・HPの更新 ・学校新聞 ・ボランティア活動
・中学校進路説明会 ・中学校保護者説明会
・中学生1日体験入学 ・小学生夏休み物作り教室

5、校長より口頭で追加説明

- ①ボランティア活動：毎月11日、江津駅から校門まで清掃。
②小学生（将来の江津工高生）対象に「夏休み物作り教室」。

「勝田の質問」 関東支部から情報及び意見交換会の議題提案書（①魅力化推進委員会、
②会則の見直し、③旧江津市内3支部の統合、④魅力化推進の方策）
を本部へ提出しました。

今回の配布資料に入っていないがどのように取扱っておられますか？

「土井会長回答」情報及び意見交換会の案内資料として配布済みとの返事。

情報及び意見交換会の議事録（勝田作成）

1. 開 会：高月事務局長

「勝田より動議」議事録を纏めるように提案した。

「土井会長」了解しました。

2. 会長挨拶：土井正人（C39 卒）

情報及び意見交換会開催に至る経過説明。

3. 校長挨拶：大賀美周作

1) 今年で就任3年目になった。

2) 江津市役所が立上げた「江津市県立高等学校のあり方検討会」より江津市長宛
「検討結果報告書」が3月27日に提出された。（添付資料-2）

その後、江津市広報の通り「パブリックコメント」の募集がありました。

*6月下旬、江津市から県教育委員会へ「検討結果報告書」、「パブリックコメント」
が、提出されたそうです。 ②

「勝田の注釈」江津市役所へ問合せた結果 パブリックコメントは約 20 通。
そのうち、江津工高 OB から 14 通との事。

(提出者：関東、関西、九州、益田、山口支部会員等)

- 3) 新入生の募集状況説明 (学校としては全力で生徒の確保に尽力している)
- ① 中学校訪問して学校説明
 - ② 各地区で父兄に対する学校説明会
 - ③ 中学校の進路・進学指導で先生方が偏差値主体で割振りしている傾向が強い。
*JR 列車の都合 (乗換・待ち時間) で浜田駅以西の生徒が減少している。
*桜江地区の中学生が 島根中央高校 (川本) へ進学している。(増加傾向)
- 「勝田の注釈」川本町営通学バスが江津まで来ている。

4. 教頭による資料内容の説明 (学校の現状報告)

- 1) 配布資料：3 生徒の状況
- 2) 配布資料：4 江工会資料

5. 西村関東支部長より情報及び意見交換会の議題提案書概要説明

- 1) 母校の魅力化推進委員会の立上げについて
- 2) 江工会会則 (組織を含む) の見直し・改訂について
- 3) 旧江津市内 3 支部の統合と組織強化について

「勝田の追記」*本部へ送付した資料は上記の他、勝田作成の江津工業高校魅力化推進委員会の立上げについて (5月9日の本部理事会・総会で発表済み)

6. 討 議

- 1) 母校の魅力化、魅力化推進委員会立上げについて
 - ①校長 ア) 各地区共、苦悩している中での事例等の説明
*島根中央高校、飯南高校：県外生が多くなっている。
*町が通学バスを提供して、通学支援をしている。
イ) 江津市：下校時のみ通学バスを提供中。(効率が悪い。)
ウ) 江津市内の中学生：平成 26 年度 220 名の内、
江津工高へ 32 名、江津高校へ 67 名、市内私立高校へ 41 名。
市外高校へ 80 名。(浜田：34 名、川本：18 名、その他：28 名)
*江津工高の入学生：82 名 (江津市以外から 50 名)
エ) 市内某私立高校は大田・川本・三隅から通学バスを運行中。 ③

②勝田 ア) 市内某私立高校が数年前経営破たん(経営者・校名等の変更)
その後、江津市が毎年 4400 万円補助している。その理由は?

イ) この補助金を市内在住の高校生に均等に補助すべきだと
考えるが?

*土井会長(江津市議員)よりいずれにも明確な回答なしでした。

③勝田 ア) 江津普通高校の PR が凄い。(8月11日付け、山陰中央新報記事)

*5月には江津市都野津町内自治会回覧板で存続署名運動

*山陰中央新報の記事に校長が「孫の I・U ターン」の PR

*市内全住戸へ上記案内文の配布済み。

*お盆休みで帰省中の OB を含めて PR 等。

イ) 江津工業高校もマスコミを利用した PR する方法を
考えるべきと考える。

ウ) タイムスケジュールを作成し年内に推進委員会を立上げるべき。

エ) 来年度より県外生受入枠の撤廃、スポーツ特別枠の採用が発表され
たので、県外入学生への PR を至急開始すべきと考えます。

「勝田の注釈」島根県の U・I ターンフェアに母校が参加。県外入学生募集。

東京:11月1日(日)10時から有楽町東京交通会館12階で。

広島:10月18日(日)10時から NTT クレドホール11階で。

④校長 上記③-ア)について:父母、祖父母に対する行動で問題は無い。

上記③-エ)について:県教育委員会の詳細方針書を待ちます。

ア) 地元で江津工業高校のイメージが悪い。(デキ、ガラ等)

*改善策として 江津駅一通学路(江津駅から校門)の清掃、
及び老人ホームの慰問等の実行。

イ) 江津普通高校には OB の先生が 14, 15 名在席中なので

その力が大きいと思います。上記③-ア)に対する回答。

*江津工業高校は5名のみ。(人数の差が大きいと説明。)

ウ) 江津市の奨学金制度が新設された。

*市内在住でポリテクカレッジ生対象。2年間で50万円。

卒業後、地元企業で5年間勤めれば、返済免除。

エ) 新入生の成績(入試)は120点以上を合格としており、定員数合わ
せはしていない。それ以下の生徒は私立高校へ入学しているよ
うです。

⑤築橋(M42卒、美郷町)

ア) 委員会を早急に立上げ、母校存続をバックアップすべき。

⑥関西支部 ア) 委員会立上げに賛同する。

イ) 生徒の地元就職意志が強くなっている。(新会員減少) ④

- ⑦江津市役所支部 ア) 江津工業高校を存続させるべき。
イ) 旧江津市内 3 支部が早期統合すべき。
- ⑧益田支部 ア) 準備委員会の早期立上げをすべき。
イ) 実業高校として存続するように応援をします。
- ⑨弥栄支部 ア) 準備委員会を早急に立上げること。
* 土井会長回答「立上げを検討します。」
- ⑩山口支部 ア) 推進委員会を早急に立上げること。
- ⑪九州支部 ア) 県教育委員会で統廃合の方針が決まっているのでは？
イ) 優秀な生徒の募集対策として中高一貫教育が必要と考える。
- ⑫城山 (M37 卒、山パル OB) ア) 江津工高の卒業生は即戦力で貴重です。
イ) 民間企業就職の PR を強化すべき。
* 山パル支部の活動再開指導を依頼済み。
- ⑬西村 (A47 卒、関東) ア) 地元企業 (江津工業団地を含む) との連携。
イ) 山形県長井工業高等学校の事例紹介。
市役所・地元企業・長井工高の連携が凄い。
- 「勝田補足」 * 長井工高については元一橋大学大学院「関満博教授」が
地元産業育成と工業高校の良い事例として説明されます。
* 現在も島根県の産業コーディネーターをされているはずです。
* 全国に門下生がいて以前、江津でも門下生全国大会が開催
されました。C43 卒の横田学さんはその時の筆頭幹事でした。
- ⑭岸 (C37 卒、関東) ア) 存続する為には江津工高・江工会・PTA・地元企業
の連携が必要と考える。
イ) PTA としての活動はどのようになっているのか？
* 浜田市内 3 県立高校の PTA は浜田市久保田市長に
存続要請書を 13 日に提出済み。同様な行動は？
(14 日付け、山陰中央新報の記事を提示。)
- ⑮佐々木 (A40 卒、江津) ア) 江津工業高校は存続すると思う。
(江津工業団地の企業誘致の手段として)
- ⑯勝田 (E38 卒、関東) ア) 産・官・学の共同事業として
田才 (C43 卒) さんが立上げを準備中。
* 江津市内の金属加工業の企業・江津工高・
ポリテクカレッジの 3 者で、技術向上等の為。
イ) マスコミを利用した学校紹介を進め中学生に
親近感を持たせる努力が必要。
ウ) 最近、学校の HP が大幅に改善されている。⑤

⑰土井(C39卒、会長)ア)9月中に県教育委員会の方針が発表されると思う。

*具体的な内容説明無し。

2) 会則の見直し・改訂について

①関東支部(西村)より提案主旨説明

ア)今年の本部理事会・総会で名誉会長職(学校長)が無くなり
学校長が副会長に変更になった。

イ)母校の存続が問題になっている現在、現状の会則では対応できない。
各支部長を理事にして(その他の理事もあり)広く意見を聞き体制を
立直すべきである。

*土井会長回答:地元の理事を集めて検討したい。次総会に提案予定。

「勝田の補足」ア)今までの本部会長は慣例として江津市議会の議長経験者が
就任していた。(土井会長も同様)名誉職としては
良かったがこれからの荒波を越えるには人事一新が必要
である。

イ)特に母校存続問題等については「公務員・特別公務員」は
職務上(守秘義務等の関係)、対応できないようです。

「理事について勝田(案)」

*理事:各支部から選出(支部長・21支部)計21名
各科から選出(A:4名、M:5名、PT:1名、
C:3名、E:5名)計18名
理事会の推薦(若干名)合計39名+α

*会長・副会長(全国からバランス良く)は理事会で互選
し、総会で承認する。

4) 旧江津市内3支部の統合について

関東支部より、主旨説明。

7. 閉会の挨拶(土井会長)

1)本日の情報及び意見交換会を開催するにあたり、小生は辞表を持参・提出する考
えでした。

2)江工会は母校(学校長)からの要請で行動を開始すべきと考えます。

*江工会はあくまでも「学校の支援部隊」であると強く強調されていました。

8. 閉会

江工会関東支部副支部長 勝田友治(E38卒)⑥